

登録コード	HM113300	開講年度	2026				
授業題目	代謝内分泌実践学特論				担当教員	山崎 雅則 他	
英文授業名	Applied Endocrinology				副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				・基礎実験の手法をどのように代謝内分泌学で用いるかを学ぶ。		
(2)詳細 /Detailed information	内分泌、代謝疾患に対応出来る実践力を身につけることを目的する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	内分泌、代謝疾患における実践力を身につけるために、実際の症例に対する検査、治療について講義またはカンファレンスを行い、臨床的能力の向上を図る。						
(4)授業計画 /Course plan	(山崎雅則 / 7 回) ・ 1 型糖尿病の様々な症例について具体的な治療計画をたてる。2 型糖尿病の病態を踏まえた、個別的な治療目標と患者中心のアプローチを多くの症例提示から学習する。脂質代謝、尿酸代謝、高血圧の診断法と治療法を学習する。 (山崎雅則 / 8 回) ・ ホルモンが発見と治療への応用の歴史について俯瞰する。そのうえで、各種内分泌腺（間脳下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性腺）の機能亢進、機能低下、ホルモン抵抗性、腫瘍による数多くの疾患の診断と治療を習得する。各種内分泌負荷試験の意義や解釈について理解する。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	カンファレンスにおけるプレゼンテーション能力の評価						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書 /Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	プレゼンテーションに必要な資料を準備すること						
(7)質問、相談への対応 /Questions and requests for advice	カンファレンスにおいて、担当教官への質問を受け付ける。						
(8)授業の形式 /Course format	講義もしくはカンファレンス（オムニバス方式）						